

滋賀大学環境総合研究センター

研究年報

第6巻第1号（通巻第6号）2009年7月

Science for Environment & Sustainable Society

特集論文：韓国における河川流域管理政策の新展開

韓国の水利用負担金制度と流域管理

—日本の森林・水源環境税と比較の視点から—

李 秀澈 1

韓国の生態河川づくり10年計画の推進に関する現況と課題

南 光鉉 15

韓国の非点汚染源管理政策の課題と方向

李 昌洙 25

論文

地方自治体における諮問機関

—滋賀県 RD 最終処分場問題対策委員会を事例にして

早川 洋行 33

研究ノート

労働環境リスクに対する立法的規制

大和田敢太 47

滋賀大学における環境の現状と課題（第1報）

中野 桂・池尾 良 63

戦前期わが国農村における共有資源管理・利用の実態

：「農家経済調査簿」を用いたケース・スタディー

藤栄 剛 73

報告・資料

プロジェクト研究活動

- ① 琵琶湖・淀川流域と韓国・洛東江流域を素材にした流域管理政策の日韓比較研究
 - ② びわ湖に流入する河川水の分散機構
 - ③ ふなずしの伝承を目的とした機能性成分の探索
 - ④ 中国における持続可能な流域管理に関する統合モデル開発
 - ⑤ 消費者のリスク態度と環境保全型農産物の消費行動に関する研究
 - ⑥ 水辺における「二次的自然」とその維持管理の地域システムに関する研究
 - ⑦ キャンパス・サステイナビリティの実現に関する調査研究
-